
???俺が居た、証。

ユズポン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

????俺が居た、証。

【Nコード】

N35020

【作者名】

ユズポン

【あらすじ】

グレイが死んでしまう話。

グレイ視点です。

グレイが死ぬのは嫌！という人はBACKお願いします。

SIDE・GLAY(前書き)

駄文です!!!!!!

SIDE・GLAY

たとえば、君に俺が見えなくなっても、俺は傍から君を見守る――！

「?????うつ????」

?????どうしてこうなったんだろう。

ああ、そうか。

俺は確か一人でクエストに行つて、相手をあっけなく倒して。

でも相手が最後の力を振り絞つて俺を突き飛ばし。

高いがけから落ちたんだ???

そして運悪く、突き出した枝が深々と俺の体に突き刺さり。今の状態にあるんだ――！

もはや感覚も無く、痛みも感じない。

目は霞んできて???

「?????俺?????もう?????ダメなのか?????」

溢れてくるのは涙ばかりで。

不甲斐ない自分を恨んだ。

「?????ごめんな????皆?????」

血はもう致死量をこえていて。

「?????ごめんな????ナツ?????」

同じギルドの、喧嘩仲間で恋人のアイツの顔が思い浮かんだ。

震える指先でケータイを取り出し、アイツへの最後のメッセージを。

送信者 ナツ?ドラグニル

件名 無し

ごめん

俺、先に寝るわ

おやすみ

大好きだ

送信。

「ナツ????また????会おうな????」

力なく、腕が力を失った。

君に俺は見えないけど。

俺は傍にいる。

君の生きる術を、^{すべ}見守る。

f i n .

S I D E ・ G L A Y (後書き)

グレイファンの皆様、ごめんなさい(土下座
ナツ視点も書く??? 予定です(もうヤメレ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3502o/>

???俺が居た、証。

2010年10月17日03時31分発行